

研修医だより

● 地域医療研修 2021.01.21

▶ 研修医 2 年目 S.O

こんにちは。研修医 2 年目の S.O です。医学生のみなさんは新型コロナウイルスで病院見学が制限されている中で、初期研修先を決めるのに苦労していると思います。今回は当院プログラムの地域医療研修について書かせていただきたいと思います。

北見赤十字病院の地域医療研修は、置戸赤十字病院、小清水赤十字病院、本間内科医院から選択できます。私は、今年度から選択できるようになった、本間内科医院で昨年 9 月の 1 か月間研修させていただきました。

院長の本間先生は、消化器内科を専門として、内視鏡検査に加え、地域のかかりつけ医として多くの外来患者さんの治療をいらっしゃいます。加えて、通院困難な自宅の方や施設入所中の方の訪問診療を行っています。本間先生からは医学的な知識に加え、実臨床で必要な技術や、内科医としての勘を教えてくださいました。先生自身だけでなく、看護師さん、医療スタッフの方も優しく頼りになる方ばかりでした。

これまでの日赤での研修は病棟の患者さんが対象でしたので、1 人 1 人にある程度時間をかけて診療することが可能でした。一方で、一般外来は短時間で多くの患者さんに対応しないといけません。いつも通りの薬を処方することが多いのですが、腹痛があったり、黄疸が出ていたりなど、重篤な疾患が隠れている人も経験しました。たくさんの人の中から、異常のある人をスクリーニングし、治療するのは、救急医療にもつながる要素があるのかなと思いました。一般外来の経験が乏しかった私は、初めはかなり戸惑いが多く、内服薬を見ても何の疾患か、どのような副作用に気を付けるべきか…など、わからないことが多くありました。また、新型コロナウイルスが蔓延している状況でもあり、開業の医療機関での対策や、発熱呼吸器症状のある患者さんへの初療を最前線で体験することができました。

今回の研修を通じて、開業医のやりがい、難しさを学ぶことができましたと感じています。お忙しいところ研修機会をご提供いただきました本間内科医院のみなさま、ありがとうございました。

まだまだ知りたいことはたくさんあるかと思いますが、さらに知りたくなった皆さんはぜひ web 説明会に参加してください。病院見学が再開した際にはぜひ当院に見学しに来てください。



(本間先生を囲む研修医たち)